

祥豊だより

平成26年10月6日

京都市立祥豊小学校

校長 長谷川 正

特 別 号

学校教育目標 『人間性豊かに自立する子』

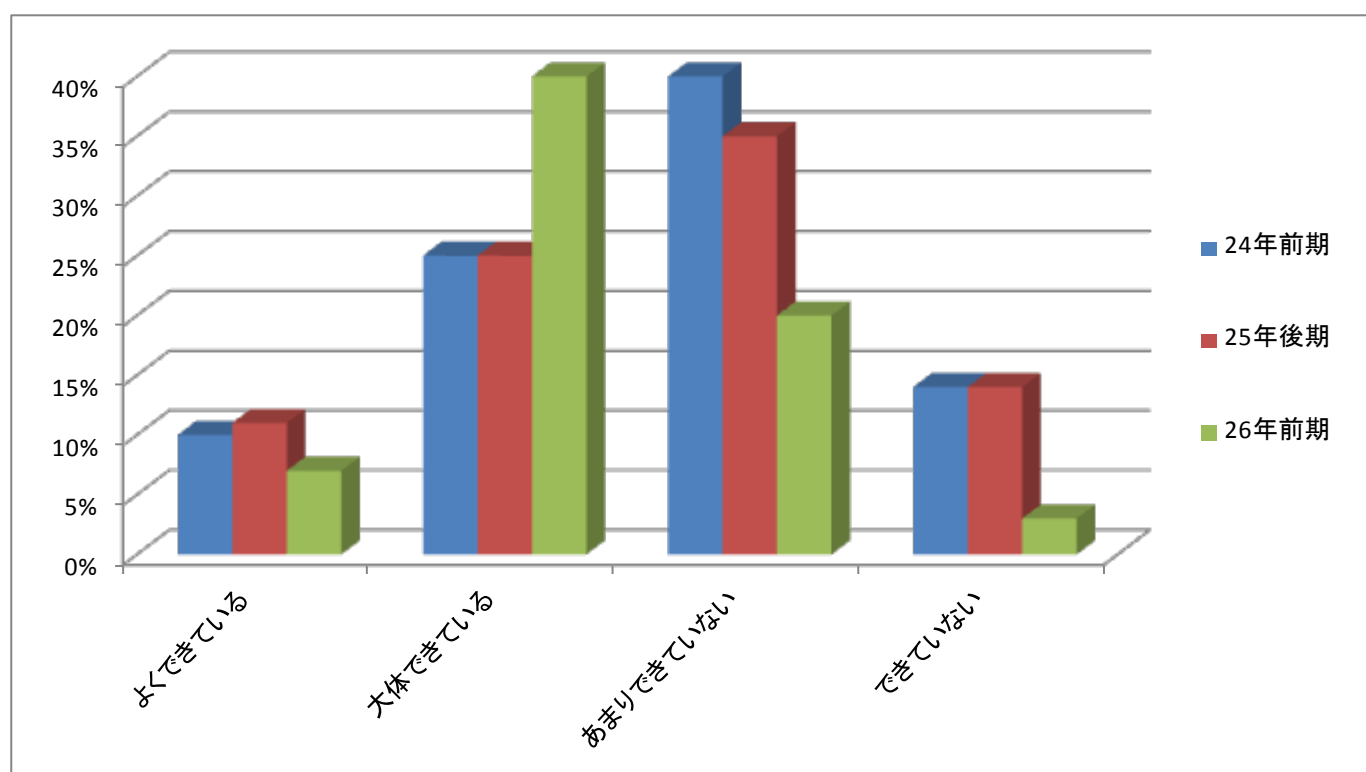
進んで勉強する子・ひとを大切にする子・心と体を鍛える子

豊かに言葉を遣う子

ご協力ありがとうございました。

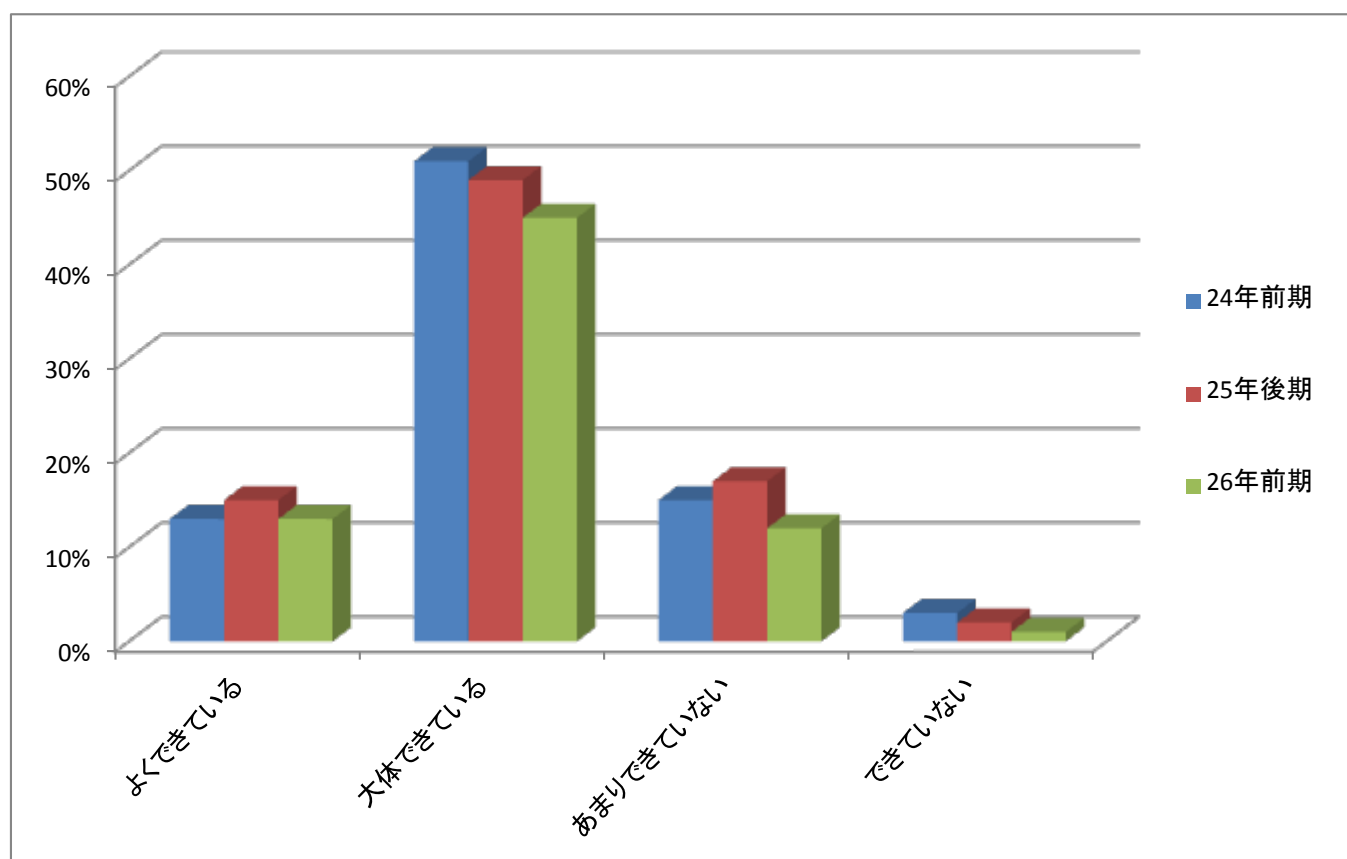
保護者の皆様には、「よりよい学校づくりに関するアンケート」にご協力いただき、誠にありがとうございました。今回は338枚(回収率84.5%)のアンケートを回収させていただきました。今回も、多くの保護者の方から、個々の児童の様子についてアンケートに答えていただいています。保護者の皆様の本校教育への関心とご協力の高まりと受け止めており、大変ありがたく存じます。その中で、課題となっている点について若干の考察を加え、お伝えさせていただきます。

1.『子どもは意欲的に読書に取り組んでいる。』（実現度を比較）



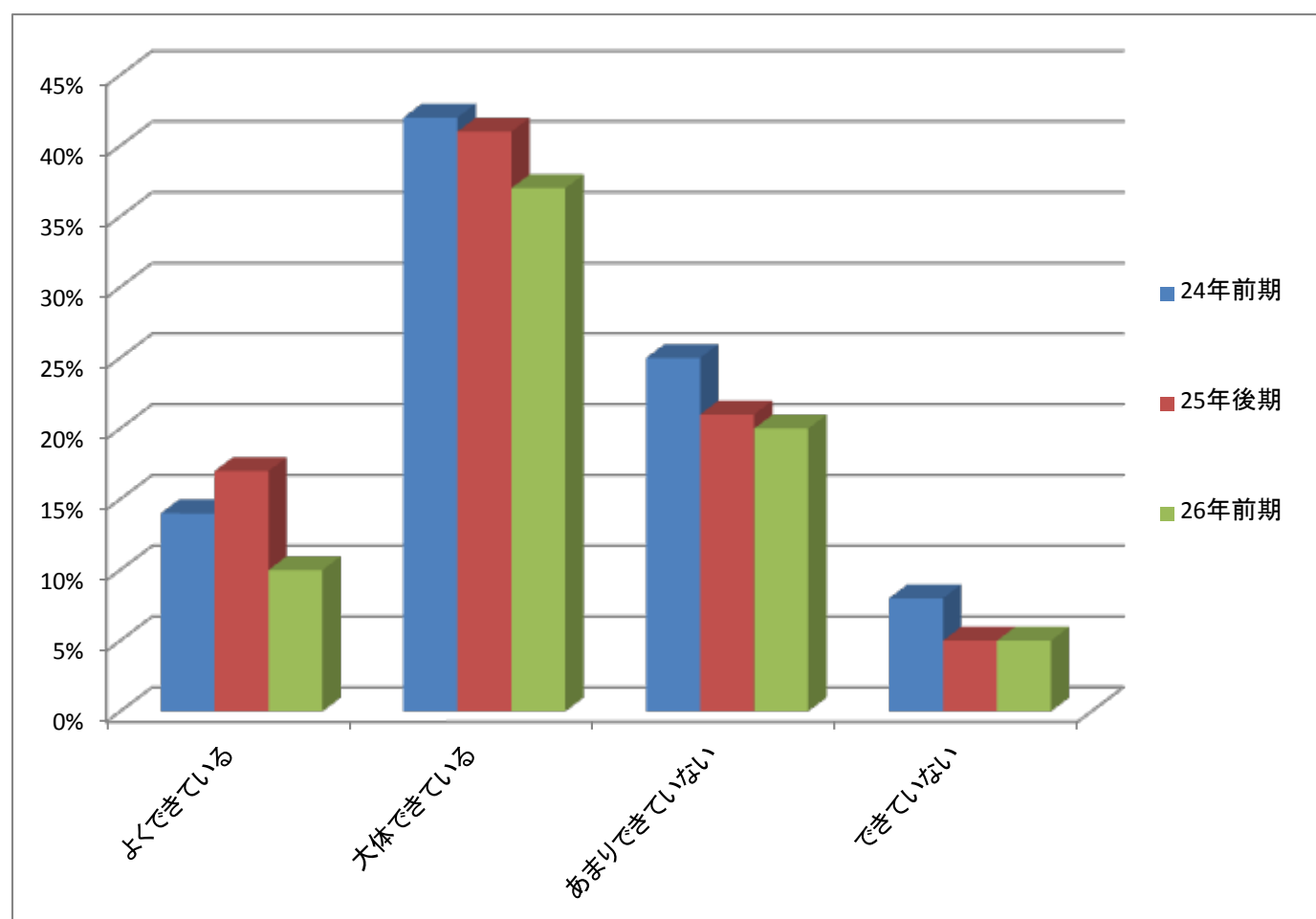
①読書傾向について、過去に残しておいたデータと比較しましたところ、24 年度前期、25 年度後期よりも本に親しむようになってきたようです。昨年度から図書支援員の配置を受け、図書室の整備を行いました。また、吉祥院図書館とも連携し、学習と関わらせていろいろな書籍の貸し出しを受けています。9 月からは、毎週火曜日の昼休みを利用し、『ハートフル本の部屋』を開いていただき、読み聞かせなどを行っていただいています。いろいろな本と出会い、知識を吸収して欲しいと思います。

2.『子どもは授業がわかりやすく、楽しいと言っている。』(実現度を比較)



②祥豊小学校では、4 月からの学習時間はもちろん、すべての学校生活の中で、学習する時の約束やルールを一人一人の子どもが確実に身につけ、意欲的に学ぶ集団作りに取り組んでいます。各学年では、指導すべき基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、すべての子どもに学習基盤の定着が図れるように、音読、暗唱、観察・実験やレポートの作成などの活動を学習の中に取り入れています。今後も、子どもが「わかる喜びと学ぶ楽しさ」を実感できる、一人一人の子どもに応じた授業を目指し、効果的な指導方法や指導体制のさらなる工夫改善を図っていきます。

3.『子どもは家庭学習の習慣がついている。』(実現度を比較)



③学校で学習した内容が定着するために、家庭でも学習内容の再確認・補充等をしてもらっています。学年の発達に見合う内容を宿題という形であたえています。学校でもかなりの時間をかけて学習ルールの定着を図っています。各ご家庭でも、家庭学習のルールが身につきますように、テレビの視聴時間やゲームの時間設定など工夫をしてみてください。

4. 自由記述欄より(紙面の都合上、すべては掲載できません。)

・先生は細かく学校での様子を伝えてくれるし、子どもにも優しく指導してくださっているので、とても感謝しています。いつもありがとうございます。

・昨日の自由参観ありがとうございました。クラスも半年たつ中で授業に集中できていない状況に少し驚きました。もう少し学習意欲が上がってくれることを期待します。

・常日頃から言っているが、取り組みにまでなかなかつながらないので、どう伝えれば本人に伝えられるか分からず困っている。

・学校のHP、日々の活動の様子などをこまめにUPしてくださっているので子どもたちの様子が

わかっていいなと思います。できれば、祥豊だよりの更新も早めにしていただけると外出先などでも携帯などで行事予定が確認できるので助かるのですが。

・暴力的な子、暴力がいけないことや暴力行為が理解できない子どもさんとの付き合い方を教えてほしいです。

・小学校から家庭学習の習慣をつけさせようとしてくださることは、とてもよいことだと思います。自主的に学習を始めるのにとっても役立っています。

・身体づくりや健康を考えるのであれば、もっと身体を動かす時間、授業で増やしてほしい。勉強ばかりでなく体育の時間を！もっと努力してできることやみんなで協力することの大切さ一杯学べるのに。今の子どもにはそれが感じられない。

・学校行事などでお弁当になると持ち帰り給食としていろいろなものを持ってきますが、食べないものもあり困ることも。前もってわかっていることなので返金してもらった方がいいです。

・故紙回収を今は保護者が当番でやっているが 4 年生以上の子どもにやらせてもいいのではと思います。

・学校の対応や担任の先生の対応はとても丁寧で早く安心して行かせることができている。おたよりノートを通して子どもの様子を伝えることができている。また、伝えてもらえるので重要なことを把握し、その時に親としての対応も考えることにもつながっている。

・親子共々、満足な学校生活を送らせていただいています。ただ、今の子どもたちは毎日忙しいなあということを痛感します。学校の中で元気いっぱい、帰宅しても母に宿題を急がされ、一人でばおっと空間に浸る時間を取らせてあげたいものです。